



環境かわら版

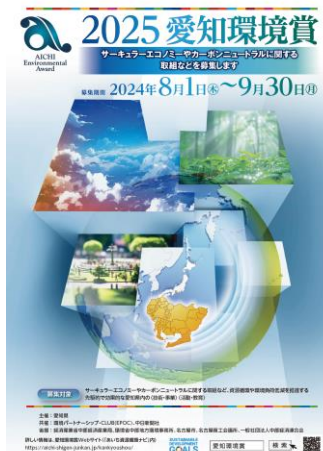
2024年8月号(第339号)



「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」第10期の活動がスタートしました(P2)



熱中症対策のためのクーリングシェルター等をご利用ください(P3)



「2025 愛知環境賞」へのエントリーを募集しています(P6)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/>)





「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」

第10期の活動がスタートしました



持続可能な未来のあいちの担い手となる大学生 40 名が「研究者」となり、パートナー企業 8 社から提示された環境課題に対して解決策を提案する「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の活動がスタートしました。

6月23日（日）に愛知県自治センターで開催した開所式には、研究所の所長である知事、第10期の研究者、パートナー企業の皆さん、ファシリテーターの皆さんが出席しました。



開所式



知事挨拶

知事からは研究者への激励の挨拶があり、パートナー企業の皆さんからも研究者の活躍に期待を寄せるコメントをいただきました。

また、研究者を代表して、南山大学の^{おぼたかのん}小幡花音さんから「メンバーの個性を活かしながら、一致団結して全力で課題に取り組んでいく所存です。」と力強い抱負が述べられました。

7月から、現地調査や企業担当者とのディスカッションなど、本格的な研究活動を行い、12月には、その成果を発表する予定です。



研究者代表
小幡花音さん



パートナー企業と研究者のミーティング

県は、持続可能な社会を支える「行動する人づくり」を推進しており、若者らしい斬新な視点で解決策を提案する研究所の活動を通じて、研究者が未来の「環境リーダー」に成長することを期待しています。

〔環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210（ダイヤルイン）〕

パートナー企業（50音順）	環境課題
(株) アルペン	「子どもたちがスポーツを楽しめる社会」を将来世代につないでいくための取組を検討せよ
(株) ウッドフレンズ	日本の森林資源をサステナブルに活用する、「次世代のまちづくり」を企画せよ
(株) サガミホールディングス	ゆたかな未来を次世代に！自然にやさしい商品・サービス・店舗を企画せよ
シヤチハタ(株)	“しるしの価値”を提供するサステナブルな製品・サービスを考案せよ
大同メタル工業(株)	大同メタルと地球環境のミライにつながる、サステナブルな事業所を提案せよ
(株) マキタ	建設・農林の現場で女性が活躍するための、環境配慮型製品を活用した取組を検討せよ
マックスバリュ東海(株)	環境負荷低減の側面から「じもの商品」をPRする新たなサービスを提案せよ
(株) LIXIL	オリジナル出前授業「水から学ぶ」をリニューアルするためのコンテンツを提案せよ

「エコドライブキャンペーン」の参加者を募集しています



愛知県は、(一社)日本自動車連盟(JAF)愛知支部と共催で「あいちエコドライブキャンペーン」を実施しています。本キャンペーンは、エコドライブに関する動画の視聴後、アンケート内のクイズに答えることで、エコドライブの方法や効果を学び、実践につなげていただくものです。

このキャンペーンの参加者を募集しますので、お知らせします。この機会に、環境やお財布にやさしく、安全運転にもつながるエコドライブを身に付け、日々の生活に生かしてみましょ。

1 実施期間

12月31日(火)まで

2 参加方法

キャンペーン Web ページにアクセスしてください。
(<https://jaf.or.jp/common/area/2024/chubu/aichi/local-news/aichiecodrive2024>)



3 参加の流れ

- (1) キャンペーン Web ページにアクセス
- (2) エコドライブについての動画を視聴
- (3) アンケートのクイズに回答
- (4) エコドライブを実践

4 記念品について

キャンペーンに参加いただいた方には、抽選で500名の方に、記念品(外出時の防災対策グッズをまとめた携帯エマージェンシーセット又は緊急時の脱出用ハンマーやシートベルトカッターが一体となったエマージェンシーキーホルダー)を進呈します。

愛知県 JAF エコドライブ

検索

地球温暖化対策課 自動車環境グループ
電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)

熱中症対策のためのクーリングシェルター等をご利用ください



熱中症対策を強化するため、気候変動適応法が一部改正され、熱中症特別警戒情報(熱中症特別警戒アラート)*の新規創設、市町村長による指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の指定などの仕組みが4月1日から創設されました。

*熱中症警戒アラートの一段上で、熱中症による人の健康に係る重大な被害が発生しうる場合に発表される

○ クーリングシェルターとは

誰もが利用できる暑さをしのげる施設として市町村長が指定したもの(公民館、図書館、ショッピングセンター等)。熱中症による重大な健康被害が生ずるおそれのある場合に発表される熱中症特別警戒アラートの発表時に、あらかじめ公表している開放可能日等において開放されます。



クーリング
シェルター・マーク

○ 県内の指定状況

県内では、35市町村で773施設が指定されています(7月8日現在)。

なお、クーリングシェルターとは別に、各市町村が独自にクールシェアスポット等の名称で熱中症対策や家庭の節電を目的とした施設を開放している場合があります。詳しくは、お住まいの市町村の Web ページをご確認ください。

熱中症特別警戒アラートが発表される等、危険な暑さが見込まれる場合は、必要に応じて、クーリングシェルター等の利用をご検討ください。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/cooling-shelter.html>)



地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

「2023 年度公共用水域及び地下水の水質調査結果」についてお知らせします



愛知県は、水質汚濁防止法第 16 条第 1 項の規定により作成した「2023 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき、関係機関とともに県内の水質調査を行いました。結果の概要は、次のとおりです。

1 公共用水域の水質調査結果

(1) 健康項目

河川、湖沼、海域の 122 地点のうち、1 地点で 1,2-ジクロロエタンが環境基準を達成しなかったものの、その他の項目及びその他地点の全ての項目で環境基準を達成しました。

(2) 生活環境項目

環境基準の達成率は下表のとおりです。達成率の長期的な推移としては、河川の生物化学的酸素要求量 (BOD)、海域の全窒素及び全りんについては改善傾向にあり、海域の化学的酸素要求量 (COD) については概ね横ばいで、湖沼の COD については未だ達成していません。

【環境基準(生活環境項目)の達成水域数及び達成率】

	調査項目	類型指定水域数*1	環境基準達成水域数	環境基準達成率	
河川	BOD	49	48	98%	
	大腸菌数*2	27	14	52%	
	水生生物保全環境基準	全亜鉛	42	38	90%
		ニルフェーナル		42	100%
		LAS		42	100%
湖沼	COD	1	0	0%	
	水生生物保全環境基準	全亜鉛	1	1	100%
		ニルフェーナル		1	100%
LAS		1		100%	
海域	COD	11	5	45%	
	全窒素	6	6	100%	
	全りん		5	83%	
	水生生物保全環境基準	全亜鉛	9	9	100%
		ニルフェーナル		9	100%
LAS		9		100%	

*1 河川及び海域については調査項目により類型指定水域数が異なります。

*2 大腸菌数は環境基準点ごとに評価を行うため、類型指定水域数には類型指定された水域の環境基準点数を、環境基準達成水域数には環境基準点における達成数を記載しています。



採水作業の様子

2 地下水の水質調査結果

県内の地下水の水質の概況を把握するため 106 地点で調査 (概況調査) を行った結果、9 地点で環境基準を超過した項目がありました。そのうち、今回新たに環境基準の超過が判明した地点については、井戸所有者へ井戸水の飲用をしないよう注意喚起を行いました。

また、地下水汚染が判明した地域の継続的な監視 (定期モニタリング (継続監視) 調査) や地下水汚染の汚染範囲等の確認 (汚染井戸周辺地区調査) も行いました。

【調査地点数及び環境基準の超過地点数】

調査区分		調査地点数	環境基準超過地点数
概況調査	メッシュ調査	88(88)	5(5)
	定点調査	18(18)	4(4)
定期モニタリング (継続監視) 調査		153(240)	93(113)
汚染井戸周辺地区調査		19(44)	5(6)

() 内は井戸の本数を示す。

3 今後の対応

引き続き調査を行い、環境基準の達成状況を把握するとともに、水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例等に基づき、事業者に対する指導、生活排水対策等を総合的に推進し、環境基準の達成・維持に努めていきます。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2023suishitsu-taiki.html>)



水大気環境課 調整・計画グループ
電話 052-954-6221 (ダイヤルイン)
水・土壌規制グループ
電話 052-954-6222 (ダイヤルイン)

「2023年度大気汚染調査結果」について

お知らせします



愛知県は、大気汚染防止法に基づき、名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市及び一宮市とともに、大気汚染調査として、大気汚染物質(二酸化硫黄等 6 物質)及び有害大気汚染物質等の常時監視を行っています。

2023 年度の大気汚染調査結果の概要は、次のとおりです。また、詳細な結果は、以下の Web ページにて公開しています。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2023suishitsu-taiki.html>)



1 大気汚染物質(二酸化硫黄等 6 物質)

二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質 (PM_{2.5}) については、前年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しました。光化学オキシダントは、前年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しませんでした。

環境基準の達成状況

項目	二酸化硫黄		二酸化窒素	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	18	4	61	24
達成測定局数	18	4	61	24
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	一酸化炭素		浮遊粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	2	9	60	24
達成測定局数	2	9	60	24
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	光化学オキシダント		微小粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	62	13	42	17
達成測定局数	0	0	42	17
環境基準達成率	0%	0%	100%	100%

(注) 一般局は地域を代表する点に設置されている一般環境大気測定局のことで、自排局は幹線道路沿いに設置されている自動車排出ガス測定局のことで。

2 有害大気汚染物質等

環境基準等が定められているベンゼンなど 15 物質については、全ての測定地点で環境基準等を達成しました。

3 今後の対応

引き続き常時監視を行うことで、環境基準等の達成状況を把握するとともに、大気汚染防止法、自動車 NOx・PM 法、県民の生活環境の保全等に関する条例、愛知県 NOx・PM 総合対策推進要綱等に基づき、工場、事業場などに対する固定発生源対策や自動車環境対策等の各種大気汚染防止対策を総合的に推進し、環境基準等の達成・維持に努めます。



大気汚染測定局 (春日井市朝宮町)

【参考】愛知県の大気汚染常時監視情報について

県内の大気汚染測定局の最新の測定値(速報値)を公開しています。光化学スモッグ情報や微小粒子状物質 (PM_{2.5}) 情報についても掲載していますので、是非ご覧ください。

(<http://taiki-kankyo-aichi.jp/kanshi/realtime/index.html>)



愛知県 大気汚染調査結果

検索

水大気環境課 大気調査グループ
電話 052-954-6216 (ダイヤルイン)

化学物質の環境への排出量等(2022年度分)についてお知らせします



私たちの生活は多くの化学物質によって支えられていますが、製造、使用、廃棄される過程で環境に排出され、人の健康や動植物などの生態系に悪い影響を与えてしまうものもあります。

このような化学物質の環境への排出を管理するため、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」及び条例により、対象事業者は、法律等で定められた化学物質について、毎年、環境に排出した量、取り扱った量等を、国や県等に届け出ることが義務付けられています。

このたび、県内の届出排出量等の2022年度分を取りまとめました。その概要は次のとおりです。

- 2022年度の届出排出量と全排出量は、いずれも2021年度と比較して減少しました。
- 2022年度の全排出量は、集計を開始した2001年度と比較して71.2%減少しました。

- 2022年度の届出取扱量に対する届出排出量の割合は、届出取扱量の集計を開始した2004年度の0.61%から0.33%に低下しました。

県内排出量等（2022年度と2021年度との比較）

	届出 事業所数	届出取扱量 (トン/年)	届出排出量 (トン/年)	全排出量 (トン/年)
2022年度	1,866件	2,545,297	8,343	19,077
2021年度	1,911件	3,149,387	8,678	19,308
増減	△45件	△19.2%	△3.9%	△1.2%

届出取扱量：事業者が自ら把握した、化学物質を製造又は使用した量
届出排出量：事業者が自ら把握した、環境に排出した化学物質の量
全排出量：届出排出量と届出外排出量(届出対象外の事業者、家庭、自動車等からの推計排出量)の合計

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/site/prtr/syuukeikekka.html>)



愛知県 化学物質

検索

環境活動推進課 環境影響・リスク対策グループ
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

「2025 愛知環境賞」へのエントリーを募集しています



愛知県では、循環型社会の形成を促進するため、企業、団体などが行う先駆的で効果的な環境取組の事例を「愛知環境賞」として表彰しています。

今年度も、表彰の対象となる取組を募集していますので、是非ご応募ください。

1 賞の種類

金賞、銀賞、銅賞、中日新聞社賞、名古屋市長賞、優秀賞

2 募集対象者

企業、団体又はグループ(個人の応募は不可)

3 募集対象事例

サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルに関する取組など、資源循環や環境負荷低減を推進する先駆的で効果的な県内の<技術・事業>及び<活動・教育>。



愛知環境賞
ロゴマーク

4 募集期間

9月30日(月)まで(必着)

5 応募方法

応募用紙(Webページから入手可)10部及びCD-R等の電子媒体1部を資源循環推進課へ直接お持ちいただくか、郵送(〒460-8501(住所記載不要))してください(メール不可)。

6 選考結果の公表

2024年12月下旬予定

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://aichi-shigen-junkan.jp/kankyoushou/>)

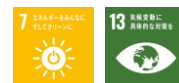


愛知環境賞

検索

資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)

「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム」を通じて、 中小企業等の脱炭素経営を支援します



カーボンニュートラルの実現に向けては、中小企業等の脱炭素経営に対する取組がとて大切で。このため、2023 年度に環境省の「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」の採択を受け、普段から地域の中小企業等と接点を持っている経済団体や金融機関等と行政が一体となって、中小企業等の脱炭素経営を支援することを目的として、2023 年 11 月に「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム(事務局：愛知県)」を設立しました。

本プラットフォームを核として、参画機関が連携・協働しながら、専門家による省エネ診断等を通じて地域ぐるみで中小企業等の脱炭素経営に向けた支援を実施します。

1 プラットフォーム参画 (56 機関)

行政機関	環境省中部地方環境事務所、愛知県、31 市町
経済団体	愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、愛知県中小企業団体中央会、名古屋商工会議所
金融機関	地方銀行 3 行、信用金庫 15 行
その他	(公財)あいち産業振興機構

2 中小企業等に対する支援事業

(1) ワンストップ相談窓口

支援メニューや支援機関の紹介、温室効果ガス排出量の算定方法など、脱炭素経営に関する様々な相談に対応する無料相談窓口を設置します。

- ・相談窓口：(一社)環境創造研究センター
(愛知県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・電話：052-325-2422
(9:00~17:00 (12:00~13:00 を除く)、月曜日~金曜日 (祝日、年末年始を除く))
- ・メール：acca-info@kankyosoken.or.jp
- ・Web：https://cn.nagoya-cci.or.jp
- ・受付期限：2025 年 3 月 21 日 (金) まで

(2) 専門家による無料の伴走型省エネ診断の実施

エネルギー管理士等の専門家による無料の省エネ診断を実施します。経済団体や金融機関等が、省エネ診断後のフォローアップ等の伴走型支援を行います。

- ・対象者：県内に本社又は主たる事業所を有する中小企業等
- ・募集者数：23 社 (先着順)
- ・募集期限：10 月 31 日 (木) まで
(募集者数に達し次第終了)

(3) 脱炭素経営体制構築コンサルティング支援

脱炭素経営に取り組むための脱炭素経営体制構築等に係る伴走型のコンサルティング支援を行います。

- ・対象者：県内に本社又は主たる事業所を有する中小企業等
- ・募集者数：1 社 (審査により選定)
- ・募集期限：8 月 30 日 (金) まで

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/aichi-decarbonization-platform.html>)



愛知県 脱炭素 プラットフォーム

検索



省エネ診断の様子

地球温暖化対策課 計画推進グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)

○ 「エルニーニョ現象」と「ラニーニャ現象」

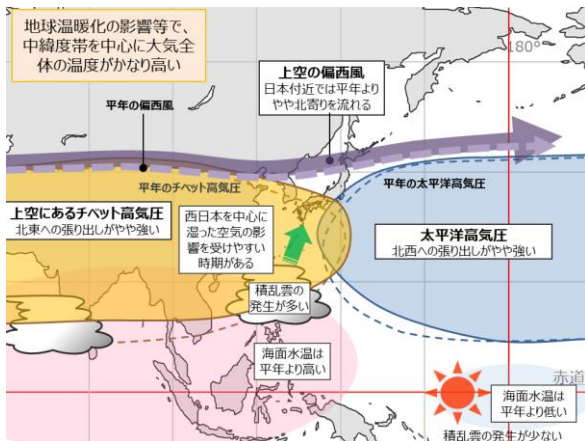
地球規模での異常気象が日本やわたしたちの身近な暮らしに影響を及ぼすことがあります。

世界気象機関(WMO)は、2023年から続いたエルニーニョ現象が終息し、夏以降はラニーニャ現象に移行する可能性が高いと発表しました。

エルニーニョ現象とは、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より高くなり、その状態が1年程度続く現象です。逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く現象はラニーニャ現象と呼ばれ、それぞれ数年おきに発生します。

○ 今年夏季の日本の天候

気象庁の今年夏季の天候見通しでは、ラニーニャ現象に近い海面水温分布になるとのことです。

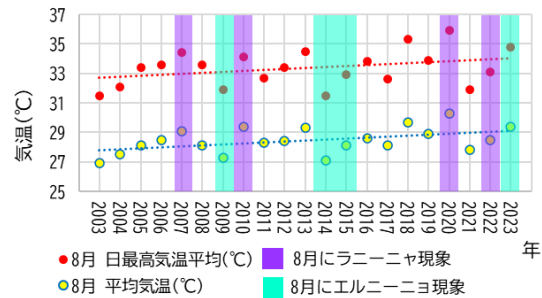


予想される海洋と大気の特徴
(気象庁ホームページより)

ラニーニャ現象が発生すると、日本の南の西太平洋熱帯域の海面水温は上昇し、積乱雲の活動が活発

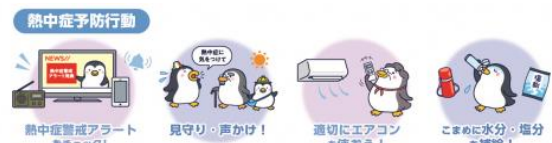
になります。このため、日本付近では、太平洋高気圧が北に張り出し、全国的に平年より気温が上がる可能性が高いとのことです。

○ 生活への影響



愛知県(名古屋市)における8月の日最高気温平均と平均気温(気象庁のデータを基に作図)

愛知県(名古屋市)では、ラニーニャ現象が発生する8月は高温になる傾向です。また、年々気温が上昇しており、昨年は冷夏になりやすいエルニーニョ現象が発生したにもかかわらず暑い夏となりました。今年の夏季も、より一層注意が必要です。県民の皆さんにおかれましては、熱中症予防行動を徹底し、体調にくれぐれもご注意ください。



(環境省指定暑熱避難施設リーフレットより)

環境調査センター 企画情報部
愛知県気候変動適応センター
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」(第339号)
発行日 2024年8月5日
編集・発行 愛知県環境調査センター 企画情報部
所在地 〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5486(ダイヤルイン)
URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>
(今月号とバックナンバーを掲載しています)

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。